

さばかん つうしん

さばかんくん



ふなばし三番瀬環境学習館、ふなばし三番瀬海浜公園から、毎月情報やメッセージをたくさん掲載している「さばかん通信」。ぜひご利用ください。

今月のテーマ

あき さが 秋だ! どんぐりを探そう

だんだんと日が短くなり、秋が深まってきました。この季節になると多いのが、「どんぐりってどこで拾えますか?」という質問です。そこで今回は、どんぐりを見つけるコツを紹介します。

記事を書いた人

アテンダント 鷹野



植物にまつわるワークショップを担当しています。拾ったどんぐりをすぐに処理せず置いておいたことがあります。ふと見たら幼虫がたくさん出てきていて、びっくりしました。

そもそもどんぐりって何? ブナ科の木の俗称(あだな)です。硬い皮に覆われ、お椀や帽子と呼ばれる殻斗を持つことが特徴です。

木を探してからどんぐりを探そう どんぐりを探しに、近くの公園に行ってみましょう。地面ばかりを探しがちですが、まずはどんぐりになる木を探すのがポイントです。今回は3種類のどんぐりになる木を紹介します。

まずはつやつやした葉っぱがついた木を探しましょう。今回紹介するどんぐりになる木は、どれも葉っぱがつやつやとしています。特に遠くからでもすぐわかるのが、スタジイの木です。スタジイは葉の表側は緑色ですが、裏側が金色なため、風が吹くとキラキラと輝いて見えます。チューリップのような殻斗が特徴の、黒っぽいどんぐりが拾えます。

次に見つけやすいのは、マテバシイの木です。マテバシイは葉が最大で20cmほどになります。大きな葉をたくさんつけるので、マテバシイの木の下は暗い印象です。どんぐりも大きく、しかも9月ごろには熟して落ちるので、いち早くどんぐりを拾いたい人にオススメです。

丸くて大きなどんぐりが人気のクヌギは、つやつやした葉っぱのフチにトゲがついているのが特徴です。クヌギのどんぐりに惹かれるのはヒトだけではないようで、落ちたどんぐりには虫が出た穴があいていることがよくあります。

拾った後にやること クヌギだけではなく、どの種類のどんぐりも虫がついていることがあります。工作などに使う前に、かならず処理をしましょう。土がついていたらしっかりと洗い流し、お湯で煮てから乾かす方法、冷凍してから乾かす方法などがあります。いろいろな種類のどんぐりをたくさん拾って、秋を楽しみましょう♪(鷹野)



スタジイ: 全体はブロッコリーのような形

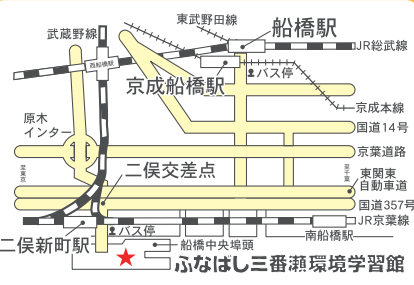


マテバシイ: 全体はブロッコリーのような形



クヌギ: 全体はひよろっとしていることが多い

個性いろいろ♪



ふなばし三番瀬環境学習館
[開館時間] 9:00~17:00 [休館日] 原則月曜日(祝日・休日と重なった場合は次の平日)、10/15・28は開館 [アクセス] 電車・バス: JR船橋駅・京成船橋駅、JR二俣新町駅から京成バスシステム「船橋海浜公園」行終下車/車: 国道357号 二俣交差点を「船橋中央ふ頭」方面へ (駐車料金普通車:500円) [お問い合わせ] 〒273-0016 千葉県船橋市潮見町40 メール:pr@sambanze.jp 電話:047-435-7711 FAX:047-435-7712 公式ホームページ: https://www.sambanze.jp/

やちょう 野鳥インフォメーション
夏の終盤から春にかけてみられる、ハトよりやや小さなチドリの中まです。秋には夏羽から冬羽に移行中の個体や幼鳥がみられます。脇が黒いことも特徴の一つで、飛翔時にはよく目立ちます。(大口)

